

## 福岡和白病院でゲムシタビンの治療を受けられた患者様へ

当院薬局では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

また、この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	当院におけるゲムシタビン投与に伴う血管痛の関連要因の検討
当院の研究責任者（所属）	親泊 広大、伊藤 佑佳子（薬局）
本研究の目的	抗癌剤の一つであるゲムシタビンによる血管痛の発現割合を調査し、溶解液を生理食塩液からブドウ糖液に変更することで、血管痛発現の予防・緩和に有効であるかを検討する。また、年齢、性別、BMI、癌種、併用している抗癌剤等を調査し、血管痛との関連性を検討する。
調査データ該当期間	西暦2018年4月1日～2024年3月31日
研究方法	<p>●調査の対象となる患者様●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記期間に当院でゲムシタビンの治療を受けられた患者様</li> <li>・上記期間に当院でゲムシタビンの治療を受けられ、血管痛によりブドウ糖への変更を希望した患者様</li> </ul>
	<p>●使用するカルテ情報●</p> <p>年齢、性別、BMI、癌種、併用抗癌剤、穿刺部位、CV ポート挿入の有無、血管痛の有無、初回血管痛が発現時の投与回数、血管痛が発現した回数、総投与回数、血管痛への対応、NRS、看護記録等</p>
	<p>●試料や情報の管理●</p> <p>他の期間への試料・情報の提供はない。</p>
個人情報の取り扱い	<p>研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。</p> <p>将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。</p>

<p>本研究の資金源・ 利益相反<sup>※</sup>について</p> <p>※外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。</p>	<p>本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>福岡和白病院 薬局 電話：092-608-0001（代表） 研究責任者：親泊 広大、伊藤 佑佳子</p>